

# 青少年のための科学の祭典2000

於:ライフパーク倉敷 2000. 11. 8~9

参加者 高松 (仁美小) 倉橋 (幡多小) 松本 (国府小)  
田辺 (福浜小) 八谷 (幡多小) 福井 (伊島小)



今年も「青少年のための科学の祭典」が11月8日9日の2日間、ライフパーク倉敷を会場に開催されました。

今回は小教研を通しての動員があり、静観台グループも「ラブラブめがねでスケルトン」という科学工作・実験をやってきました。これは、ホロスペックという回折格子の一種を6mm角の小片に切り、名刺大のカードにパンチであけた穴にあわせビニールパッチで貼りつけたものです。この穴を通してクリスマスツリーのイルミネーションなどを見ると、一つ一つの点光源がハート型にみえます。花火見物に最適のグッズです。また、手を蛍光灯などの明るい光源に向けてかざすと、まるでレントゲン写真のような骨がみられます。(これは実際の骨ではなく回折でできた光の影です) さらに今回は、高松さんから新しいやり方を教えてもらいました。手をOKの形にして、できるだけ小さな穴をつくり、蛍光灯などの明るい光源に向けてかざすというもので、こうすれば自分の手で点光源ができるのでどこでもハートマークが見えるという寸法です。

今回は6人の参加となりましたが、6人がそれぞれ自分なりのストーリーを作って説明し、子供達をひきつけているのには、さすがだなと感心しました。

今回の祭典では笠岡高校の難波二郎先生が出展していた「簡易版立体月齢早見」が、何ととっても一番の目玉だと思いました。また、個人的にはカイコの卵と合成飼料の入手先を教わったのが最大の収穫です。また、ホロスペックシートが東急ハンズで売られているという情報もあり難いと思いました

福井は今回の祭典では小教研との窓口ということで役員として準備の段階からずっと参加してきましたが、やはり組織を動かす仕事よりも、子供達と直接かかわる仕事の方が性に合っていると実感しました。